

地域子ども・子育て支援事業の確保方策に対する委員意見等

寄せられた意見・質問

1 利用者支援事業

- (1) 横浜市の「保育コンシェルジュ」を参考に考えているとことでしたが、「保育コンシェルジュ」がどういったものなのか、資料があるともっとイメージしやすいと思います。
- (2) 会議でも出ていましたが、事業概要の部分の内容がわかりづらい。国の指針を転記したとのことですが、「教育」という文字が「学校」を連想させること、また国の指針には子ども家庭支援センターの役割（子育て相談事業）も含まれているが、小金井市はそれを含まないとのこと説明でしたので、独自の文章を考える必要があると思います。
- (3) 相談しやすい窓口の設置（場所確保）と、そこに来れば情報を得られる事も大事です。また情報を渡すだけでなく、つないでほしいと思います。窓口担当が間に入っていることは保育園や幼稚園にもご本人（保護者）にとっても安心できると思います。
- (4) 障がいのある子どもの受け入れが難しいのか、断られるケースを良く聞きます。その時にもぜひ力になっていただきたいです。自立支援課との連携もお願いします。

2 放課後児童健全育成事業

- (1) 見直しの時期について、会議での意見も聞いて…ということですが、ある程度行政側で考えていただいたものをご提示して頂いたほうが考えやすいと思います。この会議のどの時点でその話をするのかも合わせてお願いしたいです。
- (2) 放課後こどもプランの今後の方向は現在どのようなもので、いつ頃どうなっていくのでしょうか？不透明なままなのはとても困ります。

3 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

- (1) これに関しては0-1歳児の受け入れを今後どうしていくのかを、小金井市として他市との連携も含め検討し、方策を出してほしいです。

4 乳児家庭全戸訪問事業

- (1) 子どもが生まれたばかりの頃、来ていただいたことがとても有り難かったことを思い出します。事後のアンケートの実施もされているとのことですので、今後も続けて頂きたいです。

5 養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業

- (1) 量の見込み・確保方策ともに問題無いと思います。デリケートな問題を抱える保護者にとって、また子どもにとってよりよい支援ができるよう、これからの尽力していただきたい。

6 地域子育て支援拠点事業

- (1) 学童保育所でのひろば事業は、ゆくゆくその地域で育っていく子どもの最初の場所としてとてもいいと思います。
- (2) その場で悩みを打ち明ける保護者もいると思います。必要な場合は専門の相談場所に繋げるなど連携も期待します。

7 一時預かり事業

- (1) 待機児童の利用が多く、なかなか一時利用を必要とする家庭が使用できない状況とのこと。具体的な待機児童の解消計画と今後の見込みを提示していただきたいと思います。そうでないとこの数字が妥当なのか判断が付きません。

8 病児保育事業（病児・病後児保育事業）

- (1) 「確保方策について」の点2番、「現在の～確保方策においては定員3人と4人の2施設で想定」とありますが、現在有るしんあい保育園・くすみ保育室以外に2施設作る予定ということでしたか？